

私たちには夢がある

いつの日か、新潟の古町から市民病院まで路面電車（LRT）一本で通いたい、一本の電車で県庁にも市役所にも行ってみたい。いつの日かビッグスワンでアルビレックスの試合を見終わって、古町まで一本の電車で行き着いて飲んで帰りたい。その時は新潟駅が高架化していて南北に公共交通が突き抜けているはずだ。

亀田のジャスコへ車で出掛け、買い物をして、車を置いて、電車で古町へ出てお茶を飲んでまた電車でジャスコに帰る。その時は、ジャスコで遊んでも古町でまた違った楽しみが出来るそんな町になっている。

車を運転できなくとも、公共交通で簡単に買い物に行き、簡単に市民病院に行き、県庁にも市役所にも電車で行ける。郊外からは、ビッグスワンや青山のジャスコに駐車場があり、そこに車を置いて、路面電車で古町にも万代シティにも一本で行ける。

新潟島の下町や沼垂からは10分おきに、近くの路面電車の駅にシャトルバスが運行されている。乗り換えはするけれど、その乗換駅からはジャスコ、ビッグスワン、市民病院、県庁、市役所、リユートピア、癌センターへ電車で簡単に辿り着く。

柗谷小路の東堀と西堀の間、車は入れない。路面電車と人だけが通行できるトランジットモールだ。再開発された大和跡地にはオープンカフェがあつて食事やお茶が楽しめる。その広場には冬に備えて天井はサンルーフになっている。

新潟は、高度成長期に無秩序に非効率的に町が広がった。そして少子高齢社会を迎えて人々の生活は激変しつつある。交通弱者、買い物難民、節電社会、環境破壊などなどの問題を抱えることになる。

今こそ、町のあり方を見直さなければならない。人と環境、そして健康に優しい・相応しい効率的なコンパクトな町を目指さなければならない。過度に車に頼った社会から、快適で環境に負荷のかからない町を目指さなければならない。子供からお年寄りまで安全で簡単に動ける、そして誰もが文化的、健康的に過ごせる町をつくらなければならない。

今回提案のあったBRTはそんな町を目指すための第一ステップである。BRTは決して目的でもなく最終形でもない。新潟が目指す新たなまちづくりの第一歩となるはずだ。BRTだけでない。BRT導入に伴う大胆なバス路線の再編もその第一歩であるはずだ。

私たちには新たな新潟を目指す夢がある。子や孫に残す新しい新潟は、先ず夢を描くことから始まる。